

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第222号

令和6年(2024)6月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-14-1 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

花めぐり

クチナシ



令和6年5月 小山一丁目で撮影

「♪～雨上がりの庭で くちなしの香りのやさしさに包まれたなら さっと～」魔女の宅急便の主題歌にもなった松任谷由実さんの歌。クチナシは梅雨時に甘い香りを漂わせ真っ白な花を咲かせます。春のジンチョウゲ、秋のキンモクセイと共に日本の三大香木といわれます。

秋に赤橙色の楕円の実を付けますが、この実は染料や食品の着色料にも使われます。

クチナシの名は果実が熟しても裂開しないため口の無い実で「口無し」という説があります。「昔、クチナシの小さい枝に紐を付け、子供の首におまじないとして掛けていたよ。悪い病気が口から入らないようにね」と、大正生まれの母の話です。

花言葉は「とても幸せです」「優雅」「喜びを運ぶ」など。

(小山一丁目・河原 マサ江)

町会員の集い、5年ぶりの開催となりました。当日は当町会の河野義男町会長の挨拶から始まり、防災体制整備担当課長より防災広場の説明もありました。行事の内容としては、役員がいそげ餅・フランクフルト・焼きそば・味噌おでん・おしるこの模擬店を開きました。また、地域の信用金庫からポツプコの提供もありました。

(小山台一丁目・谷内 真紀子)

今回の表彰は、日頃から各種訓練や奉仕活動、広報活動を通じて、地域防災活動の担い手となる人材を育成し、地域住民と連携を図って活動していることが評価されました。現在の荏原消防少年団の体制は、勝山団長を中心に小学2年生から高校生団員

まで70名で活動を行っています。防火防災の知識、技術を学ぶ活動を概ね1か月に1回行っています。団体生活を通じて協調性を育み、周囲の人を思いやることができる優しさの醸成と責任感のある人格形成、そして地域の防災を担うリーダーとして成長できるように日々取り組んでいます。



「町会員の集い」の様子

当町会では3月10日(日)に、小山台一丁目防災広場に「町会員の集い」を開催しました。例年3月に行っていた行事ですが、コロナの影響により、5年ぶりの開催となりました。

荏原消防少年団は、令和5年度優良少年消防クラブ表彰において、「特に優良少年消防クラブ」として総務大臣賞を受賞しました。令和6年3月27日、イイノホール＆カフェアレンスセンターにて表彰式が挙行され、高学年団員23名が出席しました。表彰式当日は、ひらつか隊長と、ごし隊長が登壇し、総務副大臣から表彰盾を受領しました。翌日には森澤区長へ受賞の報告を行いました。

町会員の集い
(小山台一丁目町会)



荏原消防少年団
総務大臣賞・受賞



町会活動紹介

お花見 (荏原四丁目町会)

当町会は毎年桜の開花時期に合わせて『桜まつり』を実施しております。

今年は3月31日(日)に屋形船を貸し切り、町会の子供達も含め35名の参加者と楽しい時間を過ごしてきました。

当日は快晴に恵まれ、春の暖かさを感じる陽気でした。お昼に船宿を出船し、町会長のご挨拶をいただいております。美味しい食事をしながら船内の窓を開けて外を眺め、参加者の皆さんが歓声を上げて喜んでいました。品川を出船し、レインボーブリッジを下から眺めながら隅田川へ。全員で屋上デッキに上がり記念撮影。幅広い世代が集まり、参加者の皆さんが笑顔でいる光景を見ていて、今後の町会活動がますます楽しみになりました。

その後同じルートで船宿まで戻るときも笑顔のまま帰ってきました。楽しかった！最高だった！の言葉を残して『桜まつり』は終了しました。

(荏原四丁目・厚生部 西山 幸男)



屋上デッキでの記念写真

女神様・市杵島姫神 (いちきしまひめのかみ) を祀った『矢の川弁財天』



道路一本挟むと目黒区という小山四丁目には、緑道公園から赤い鳥居が見える「矢の川弁財天」があります。弁財天は古来より龍蛇信仰があり、水を司る神で美しい女神様を祀ったのだと言われている。ご神徳は財運、商売繁盛、五穀豊穡、また、芸能や学問などにもご利益があります。境内には湧水を引いた小さな池があり、いつも清らかな水の色とどりの鯉が泳いでいる姿がみられます。この地に弁財天が建立された経緯は不明ですが、この祠はセメントで造られており、世話人の一人である稲葉勝裕さんの祖父(大変腕の良い左官職人であった稲葉賢造さん)が昭和30年に奉納した当時の写真が残っています。鰻(こて)ひとつで造り上げた立派な祠は現在でも健在です。弁財天には縁日があり、己巳(つちのとみ)の日に「巳まつり」が行われます。5月29日巳の日に、三谷八幡神社の大竹宮司のもとと神事が執り行われ、ご祈禱いただきました。世話人代表の根岸利さん他20名ほどが参列し、お一人お一人が玉串を捧げた後、祠の前で大竹宮司と共に直会(なおらい)にて歓談しました。

武蔵小山駅から徒歩6、7分のところにある「矢の川弁財天」には是非ご参拝され、ご神徳をいただいでください。



セメントで造られた祠



総務大臣賞受賞の様子



矢の川弁財天